



# ネイチャーセンターだより

5月号

先日、黄色い小鳥キビタキが、ネイチャーセンターの軒先でじ～っと静かに休んでいました。しばらくすると、森の奥に姿を消していきました。春になり、南で冬を越した渡り鳥たちがいっぱいやってきました。疲れた体を休ませた後、今度は子育て開始です！子育てに忙しい小鳥たちのキレイな姿や鳴き声を探しに遊びにきてください！（K）

## ネイチャーセンターだよりメールによる 配信についてのお願い

通信誌の郵送料削減と省資源を目指し、一部ネイチャーセンターだよりをメールにて（ファイル形式はPDFファイル）配信することにしました。つきましては、今後 e-mail をお持ちの方で、ご協力いただける方にはメールでの配信に切り換えさせていただきたいと思っております。もちろん e-mail をお持ちでない方、また郵送による発送をご希望の方には今後とも郵送にて配信させていただきます。

ご希望される方は下記のアドレスまで、各自のアドレスをお知らせください。ご協力お願い申し上げます。

連絡先： nemu\_nc@marimo.or.jp

## イベント News・ニュース

去る 4 月 29 日に「春のおさんぽウォッチング」を開催しました。春を探して、総勢 22 名で早春の森を散策しました。当日は暖かな陽気で絶好のお散歩日より。エゾエンゴサクやフクジュソウ、ザゼンソウなど早春に咲くお花を、虫眼鏡を使ってじっくり観察。子供達は観察の視点が広がったようで、たくさんの春を見つけられました。道中つつい寄り道をしてしまい時間も遅れがちになってしまいましたが、参加者もレンジャーも訪れた春を満喫しました。（H）



## 5 月・6 月のイベント

### 小さな木の笛とギターの演奏会

主催・演奏: Voice of the tree

コンサート

【日時】5月29日（土）16:00～17:00

【申込】不要 直接ネイチャーセンターへお越しください（定員はありません）

【概要】カキという小さな木の笛とギターの演奏会です。演奏は植樹活動やコンサート活動を行っている「Voice of the tree」というグループです。木の命の音、透明な温もりのある音色を奏でます。



### 早朝探鳥会～早起き小鳥のコーラス～

日本野鳥の会根室支部との共催

自然観察入門

【日時】6月6日（日）5:30～8:30（雨天中止）

【申込】6/5まで 【定員】先着20名

【概要】鳥に負けずに早起きして、朝の食事・子育てに忙しい鳥たちを探そう。姿や声がとってもキレイなルリビタキやコマドリたちに出会えるかも！



### 自然と人をつなぐボランティア入門講座

セミナー

【日時】6月20日（日）9:30～16:00（雨天中止）

【申込】6/17まで 【定員】先着20名

【概要】根室は自然の宝箱。この自然を多くの人に伝え、自然と人の仲を取り持つボランティアをしてみませんか？特別な知識や経験は一切いらぬ初心者対象の講座です。



イベントの申込み・問い合わせは・・・電話でネイチャーセンターへ！

電話 0153-25-3047

イベントは全て事前申込みが必要です。申込締切までに電話か、直接ネイチャーセンターのカンターでお申込みください。

## おもしろ自然コーナー



タンチョウの子育て

「抱卵はねむいよ？」

4月下旬から5月にかけて、道東各地の湿原で卵を抱いているタンチョウにヒナが生まれます。多くのタンチョウはヨシ原で地面の上に巣を作ります。これは巣の材料にヨシの枯れ茎を使うこと、餌をとる水辺に近くて安全な場所として、ヨシ原を選んでいようです。

卵をあたためている親鳥は、時々たまごの位置を変える他には、じっとしているしかありません。観察しているとよくあくびをしたり、うつらうつらと居眠りをしています。でも、こういう居眠りができるのは、安心して時だけです。空からはトビ、カラス、カモメが狙っています。もし親鳥が巣を離れたら、卵はたちまち食べられてしまうでしょう。地上からはキツネや、野生化したミンクが近づきます。時にはカメラマンや観光客が、少しでも近くか

ら写真をとりたい、と近づいてしまう事も。親鳥はこれらの侵入者から卵を守っているのです。

でも実は毎年一番の心配は、天気です。この時期の雨は、雪どけの水と重なって、巣の周りを水浸しにします。雨があまりたくさん降ると、周りの水面の方が巣より高くなり、最悪の場合は巣が水に浸かり、卵が冷えて死んでしまいます。雨の日に周りの水面が高くなり、一生懸命手近かなヨシをくわえては巣を補強している親鳥の姿も見ることがあります。

こうして1ヶ月ちょっと、雨の日も風の日も卵をあたためつづけ、やっとヒナが誕生します。ヒナが生まれると親鳥は大忙しです。この話の続きは来月に。(O)



ネイチャーセンター

## 森で・NCで みよ、あそぼ

### 今月のネイチャーセンター

#### ネイチャーセンターに新レンジャーが...

ネイチャーセンターに新レンジャーの山口 桂賜(やまぐち けいし)レンジャーが着任しました。前任地は川崎レンジャーが旅立っていったウトナイ湖です。山口レンジャーはアイヌ文化に興味を持ち、子供好きで、根室に来てからはエスカロップにはまっているようです。はきはきとした語り口調が印象的なレンジャーです。海・森・湿原からの手紙のコーナーで挨拶をしてもらいます。(H)

#### 布絵本第四弾が完成!

春国岱 NC 施設ボランティアグループ「スルク」作成の布絵本の第四弾が完成しました。タイトルは「はなのともだちだあれ」。花とその花に訪れるむしたちのいい関係が描かれています。今までは女性メンバーが中心になって作業を行ってきましたが、今回の作品では男性メンバーも慣れない針を握り、作業に参加しました。男性メンバーの作品も女性メンバーに負けない仕上がりに。是非、ネイチャーセンターでご覧になってください。(H)

### 自然のみどころ情報

#### 植物の開花は?

ネイチャーセンターの窓から見る春国岱の草原に少しずつ緑色が加わってきました。学習林では春一番に咲くフクジュソウやエゾエンゴサクの見ごろは過ぎて、アオイスミレやミヤマスミレ、オオバナノエンレイソウ、エゾオオサクラソウが咲き始めました。バイケイソウやヨブスマソウ、オオウバユリの葉は勢いよくのびて、日一日林床の緑が濃くなっています。エゾニワトコやシウリザクラなどの低木の葉が開き、続くようにハンノキの芽もふくらんでもうすぐ葉っぱが顔を見せそうです。(H)

#### 夏鳥の渡来状況

NC 横の自然学習林入り口付近では、アオジ、センダイムシクイ、エゾムシクイなどのさえずりが聞こえてきます。ミソサザイやウグイスの高らかな歌声も楽しめます。学習林を進んでいくと、小川の周辺から「ヒンカラカラカラ~」コマドリさわやかなさえずりが響き渡っています。しかし例年に比べると学習林ではコマドリが少ないように感じています。(H)

こんなのいたよ!

# 春国岱の自然情報板



## ヒメイチゲ

森の中の日当たりの良いところを見つけて白い小さな花が咲いています。足元にもご注意を!!



## シギ・チドリ類

キョウジョシギやハマシギ、メダイチドリが春国岱の先端近くの干潟でウロウロしています。北へ向かう旅の途中の休憩中です。



## 春国岱

## キョウジョシギ

京の女性の様に、あでやかです~

## ツツドリ

小鳥の巣に自分の卵を産んでヒナを育ててもらいます。育ての親として狙われそうなのは、そうですなんと青い小鳥のルリビタキ!!

ポポポポポポ-

## ルリビタキ

青い小鳥のルリビタキ。春国岱の蒼むした森の中にやってきました。本州では亜高山の針葉樹林で夏の間、暮らしているこの鳥。木の下の方で、えさを探してチラチラ飛び回っているのが見られます。探してみよう!



## オオアカゲラ

オオアカゲラが飛び回って声が森に響いています。森のどこかで子育てをしているのかな? 見つけても近づきすぎず、そっと見守ってあげてね!



## 5月1日~10日に 春国岱で見られた鳥・花

<鳥>			
マガモ	コガモ	ヒドリガモ	ヨシガモ
ハシロガモ	キンクロハジロ	スズガモ	ウミアイ
トビ	オジロシ	ミヤコドリ	メダイチドリ
ハマシギ	キョウジョシギ	シロガシ	ウミネコ
オオセグロカモメ	タンチョウ	クマガラ	オオアカゲラ
ヒバリ	ハクセキレイ	死バリの	ミサザイ
ヒゲナシ	ルリビタキ	キイタダキ	コガラ
ヒガラ	シジュウカラ	ゴジュウカラ	キバシ
アオジ	ハシトガラス	ハシボソガラス	
<花>			
ミスバシヨウ	ヒメイチゲ		

## いまから・これから ~自然“予報”~



白くて小さなヒメイチゲ、水辺に輝くミズバシヨウ、亜高山に咲くというコマヤマカタバミが遅い春をむかえた春国岱の森でひときわ目立つのも間もなくです。

色が増えた森の中では、ルリビタキ、コマドリ、キビタキがキレイなキレイな歌声を響かせます。草原に目を移すとノビタキ、ノゴマ、ベニマシコが姿をあらわします。姿・声が美しい小鳥たちに出会える季節の始まりです。(K)

## 海・森・湿原からの手紙 ~はじめまして山口です~

はじめまして山口です。2年間、北海道苫小牧市のウトナイ湖サンクチュアリで勤務してまいりましたが、4月より春国岱ネイチャーセンターで勤務することとなりました。未熟な点ではありますが、当センターが更に楽しくなるようガンバってまいります！

自然に興味を持ちはじめたのは、20歳も過ぎた頃からでした。部屋の中でパソコンに向かいながら、「世界の情報はいろんな所から耳に入ってくるけれど、自分のすぐそばの大事なことで見落とし、知らずにいることがたくさんあるんじゃないかな」ってふと思いました。そんなことが気になりだすと、目の前にある花や木の名前、スズメ以外の小鳥がすぐそばの木にたくさんやってくることを知らなかったことに気づきました。「足元や周りの自然に目をむけ見つめるのってとっても自然なことだ」って思いがどこかで芽生え、今も育ち続けています。

知らないことはまだまだたくさんあります。少しずつでもしっかりと、自分の暮らす足元や周りの自然がどうなっているのかを見て感じて、たくさんの人とそのメッセージに耳を傾けていきたいと思っています。皆さんセンターに遊びに来てください！そして一緒に「何これ？」って言いながら、春国岱の足元にあるいろんなものを見つけていきましょう！

根室にやってきてから驚きっぱなしです。風の冷たさ、坂の多さ、不自然なくらい自然な景色。そして、あったかい人が多いこと。厳しい気候の中だから、あったかい人が育っていくんですね。そんな根室でこれからはじまるすべてのことが楽しみです。どうぞよろしくお願いします。(K)



### お知らせ

- ・春国岱にある2つの木橋のうち、奥にある橋は撤去し、通ることができません。ご注意ください。
- ・木道が一部雪解け水などで朽ち、数ヶ所穴があいている部分があります。随時、簡易補修はおこなっていますが、修繕が追いつかない現状です。歩かれるときには足元に十分お気をつけください。

### 10人以上集まったら！ 春国岱ネイチャーセンターの 団体利用のおすすめ

春国岱ネイチャーセンターは団体で楽しくご利用いただけます。たとえば...

春国岱の四季を紹介するスライド上映を見学して、自然についてレクチャーを受けたり(25分)、根室の自然や動物についてさわれる標本やゲームで楽しく学ぶことができたり(20分~1時間)、20名までの自然学習が目的の団体なら、春国岱や学習林で野外での解説を受けたり(1~2時間)、自然やテーマによっては、レンジャーの出前講演なども可能です(要申込・日程調整)。

...学校団体で、子供会で、サークルで、ぜひご利用ください。

\* 利用には申込みが必要です。詳細はネイチャーセンター(25-3047)までお問い合わせください。

### 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 根室市東梅 103 番地  
TEL 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

- ・入館無料 (双眼鏡無料貸し出しあり)
- ・開館時間 4~9月 9:00~17:00  
10~3月 9:00~16:30

・ホームページ

[http://www.marimo.or.jp/nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html)

・e-mail : [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

2004.5.発行

### 5・6月の休館日

\* 毎週水曜日はネイチャーセンター-休館日です \*

< 5月 >

休館日: 6, 7, 12, 19, 26日

(6, 7日はゴールデンウィークの振替休館です。)

< 6月 >

休館日: 2, 9, 16, 23, 30日